

視 点

世界の繊維需要、2年連続で拡大...2010年

米国の Fiber Organon 誌が 2010 年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。繊維需要は前年比 11.8%増と 2年連続で増加し、2008 年後半に起こったリーマンショック後の世界的な不況から回復傾向にある。

化繊生産は 12.2%増の 5,382 万ト。合繊（オレフィン繊維を除く）とセルロース繊維は前年比 2桁増となった。

1. 2010年の世界の繊維需要

2010年の世界の繊維需要は前年比 11.8%増の 8,008 万トと 2年連続で増加し、初めて 8,000 万トを上回った。化繊が 12.2%増の 5,382 ト、天然繊維が 11.0%増の 2,626 万トといずれも 2桁の大幅増で、リーマンショックの影響を受ける前の 2007 年（7,621 万ト）の水準を上回った。

化繊の内訳はセルロース繊維が 14.0%増の 363 万ト、合繊（オレフィン繊維除く）が 13.0%増の 4,420 万トといずれも 2桁増で、オレフィン繊維も 5.6%増となった。

天然繊維では綿（コットン）が 11.9%増の 2,446 万トと大幅に回復し、2年連続の増加となったが、綿花高騰の影響もあって 2007 年の水準（2,633 万ト）には達しなかった。羊毛は 3.0%減の 113 万トで、4年連続の減産となった。絹は 8.5%増の 15.3 万トと 3年ぶりに前年を上回った。

表1. 世界の繊維需要

品 種	(1000ト、%)			
	2008	2009	2010	前年比
セルロース	2,765	3,180	3,625	14.0
合繊(オレフィン除く)	36,742	39,099	44,197	13.0
オレフィン	5,994	5,679	5,998	5.6
化繊計	45,500	47,958	53,820	12.2
綿	23,324	21,853	24,460	11.9
羊毛	1,191	1,167	1,132	-3.0
絹	148	141	153	8.5
天然繊維計	25,176	23,652	26,263	11.0
総計	70,676	71,610	80,083	11.8

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注)化繊は生産、その他は消費統計に基づく

2. 地域別合繊生産

世界の合繊（オレフィン繊維を除く）生産量は 13.0%増の 4,420 万トと 2 年連続で増加した。

国・地域別では、アジア、西欧・トルコ、米国などいずれの国・地域においても増加した。特に中国は 15.7%増の 2,891 万トと大幅に増加し、世界全体に占めるシェアは前年の 61.2%から 63.1%に拡大した。中国に次ぐ生産国のインドは 4.5%増の 312 万ト。シェアは 7.1%と 2009 年の 7.6%から縮小した。しかし中国とインドを併せると世界全体の 7 割を占めており、合繊生産は依然両国への集中が進んでいる。

表2. 世界の地域別合繊生産

国・地域	2008	2009	2010	前年比	同増減	構成比
日本	771	571	704	23.3	133	1.6
中国	21,306	24,125	27,908	15.7	3,782	63.1
韓国	1,395	1,383	1,567	13.3	184	3.5
台湾	1,993	2,048	2,206	7.7	158	5.0
ASEAN	2,461	2,578	2,686	4.2	109	6.1
インド	2,669	2,983	3,117	4.5	134	7.1
その他アジア	551	532	580	9.0	48	1.3
西欧+トルコ	2,000	1,710	1,913	11.9	203	4.3
東欧・CIS	545	458	493	7.8	36	1.1
米国	1,908	1,618	1,848	14.2	230	4.2
その他米州	749	714	785	9.9	71	1.8
中東・アフリカ・オセアニア	393	379	391	3.2	12	0.9
世界計	36,742	39,099	44,197	13.0	5,098	100.0
中国以外の計	15,436	14,973	16,289	8.8	1,316	36.9

(注) オレフィンを含まない

韓国は 13.3%増の 157 万トと 3 年ぶりの前年比増加。台湾は 7.7%増の 221 万トと 2 年連続で前年を上回った。ASEAN は域内各国で増加したが、中でもベトナムが 27.8%増の 23 万トと大幅に増加した。また「その他アジア」ではバングラデシュが 10.2 万トと前年比約 1.5 倍、2008 年比では約 5 倍と急速に拡大しており、「中国+1」の縫製拠点として存在感を高めている両国において、合繊の生産拡大が続いている。

3. 品種別合繊生産

合繊生産を品種別に見ると、ポリエステル F が 16.2%増の 2,356 万トと大幅に増加し、同 S も 9.5%の 1,373 万トと 10%近く増加した。ナイロンはフィラメントが 13.2%の 383 万トと 2 桁増だが、ステープルは 14.3%減の 19.2 万トとなった。アクリルは 0.1%減の 198 万トと横ばい。オレフィン F は 22.3%増の 498 万トと 3 年ぶりに増加に転じた。同 S は 102 万トと 4.3%増加し、100 万ト台に回復した。

表3.世界の品種別合繊生産

(1000ト、%)

品種	2008	2009	2010	前年比
アクリル	1,782	1,980	1,978	-0.1
ナイロンF	3,404	3,385	3,832	13.2
ナイロンS	273	224	192	-14.3
ポリエステルF	18,658	20,269	23,562	16.2
ポリエステルS	11,917	12,544	13,733	9.5
オレフィンF	4,955	4,075	4,982	22.3
オレフィンS	1,039	974	1,016	4.3
その他	577	662	806	21.8
総計	42,604	44,113	50,102	13.6

ポリエステルFは中国が18.9%増のほか、西欧22.8%増、トルコ37.1%増、米国30.0%増など欧米でも2桁増となった。ポリエステルSは中国が11.5%増の843万ト、インドが3.9%増の97.5万トであった。ナイロンFは中国が14.7%増の157万ト、米国が12.5%増の57.5万トと総じて増加した。一方、ナイロンSは、米国がカーペット用の不振で46.6%減と大幅に減少した。アクリルは最大生産国の中国が5.0%減の65.7万ト、インドが19.2%減の7.4万トと減少したが、西欧(5.0%増)や日本(14.5%増)は増加した。

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比14.0%増の362.5万トと2年連続で増加、リーマンショック前の2007年実績(312.1万ト)も上回った。

国・地域別では、中国が16.1%増、西欧が23.7%増、インドネシアが12.8%増と2桁の大幅増となったが、台湾は10.0%減の9.7万トと10万ト台を割り込んだ。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨンF(キュプラを含む)が最大生産国の中国で3.4%減となり、全体で1.4%減の27.6万ト。タイヤコードなどで使用される強力レーヨンFは、西欧が86.6%増の3.8万トと2007年の水準(3.8万ト)に回復し、全体で前年比1.5倍の5.6万トに増加した。レーヨンSは中国が190万トと18.6%増加、インドも29.9万トと8.4%増加し、全体で15.2%増の325万トとなった。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2009	2010	前年比	品種	2009	2010	前年比
日本	55	62	13.6	強力レーヨンF	37	56	49.9
中国	1,813	2,105	16.1	普通レーヨンF	280	276	-1.4
インド	328	349	6.6	アセテートF	44	48	7.4
インドネシア	330	372	12.8	レーヨNS	2,819	3,246	15.2
台湾	108	97	-10.0	計	3,180	3,625	14.0
タイ	104	122	17.0	(注)リヨセル繊維を含まない。			
西欧	360	446	23.7	世界のリヨセル繊維の生産能力は年産14.5万トン。			
旧ソ連	5	3	-28.9	(推定、2010年3月時点)			
米国	20	25	25.7				
ブラジル	30	21	-31.7				
その他	27	24	-13.9				
世界計	3,180	3,625	14.0				

5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比 5.6%増の 600 万トン。中東・アフリカ・オセアニアが微減となった他はいずれも増加した。

品種別ではフィラメントが 8.0%増、ステープルが 4.3%増、スリット・フィルムファイバーも 3.5%増加した。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2009	2010	前年比	品種	2009	2010	前年比
西欧	1,351	1,426	5.6	フィラメント	2,492	2,691	8.0
トルコ	283	288	1.8	ステープル	974	1,016	4.3
米国	919	971	5.7	スリット・フィルム	2,214	2,291	3.5
日本	153	168	9.8	計	5,679	5,998	5.6
中国	1,019	1,105	8.4				
その他アジア	800	829	3.6				
中東・アフリカ・オセアニア	495	491	-0.8				
その他	659	720	9.3				
世界計	5,679	5,998	5.6				

(担当：業務調査グループ 戸円)